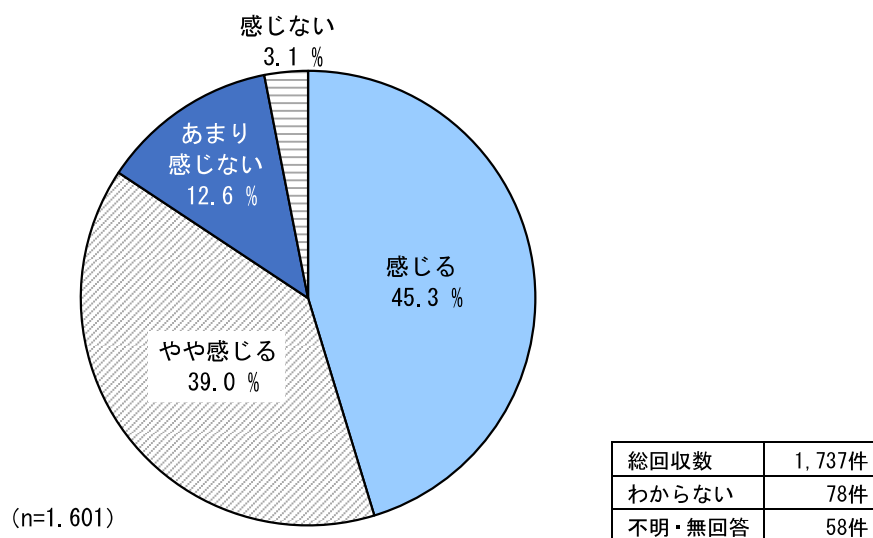


(5) 幸福感的程度

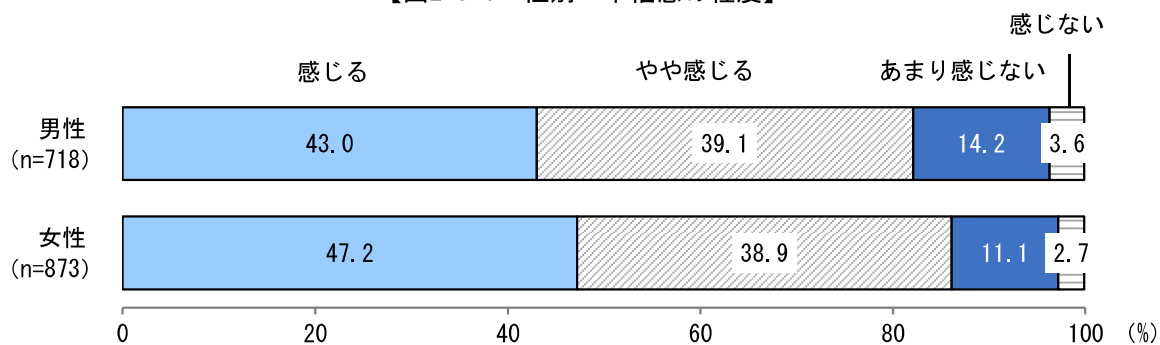
問3 あなたは、普段の生活の中に幸せを感じますか (○は1つ)

【図2-5 幸福感的程度】

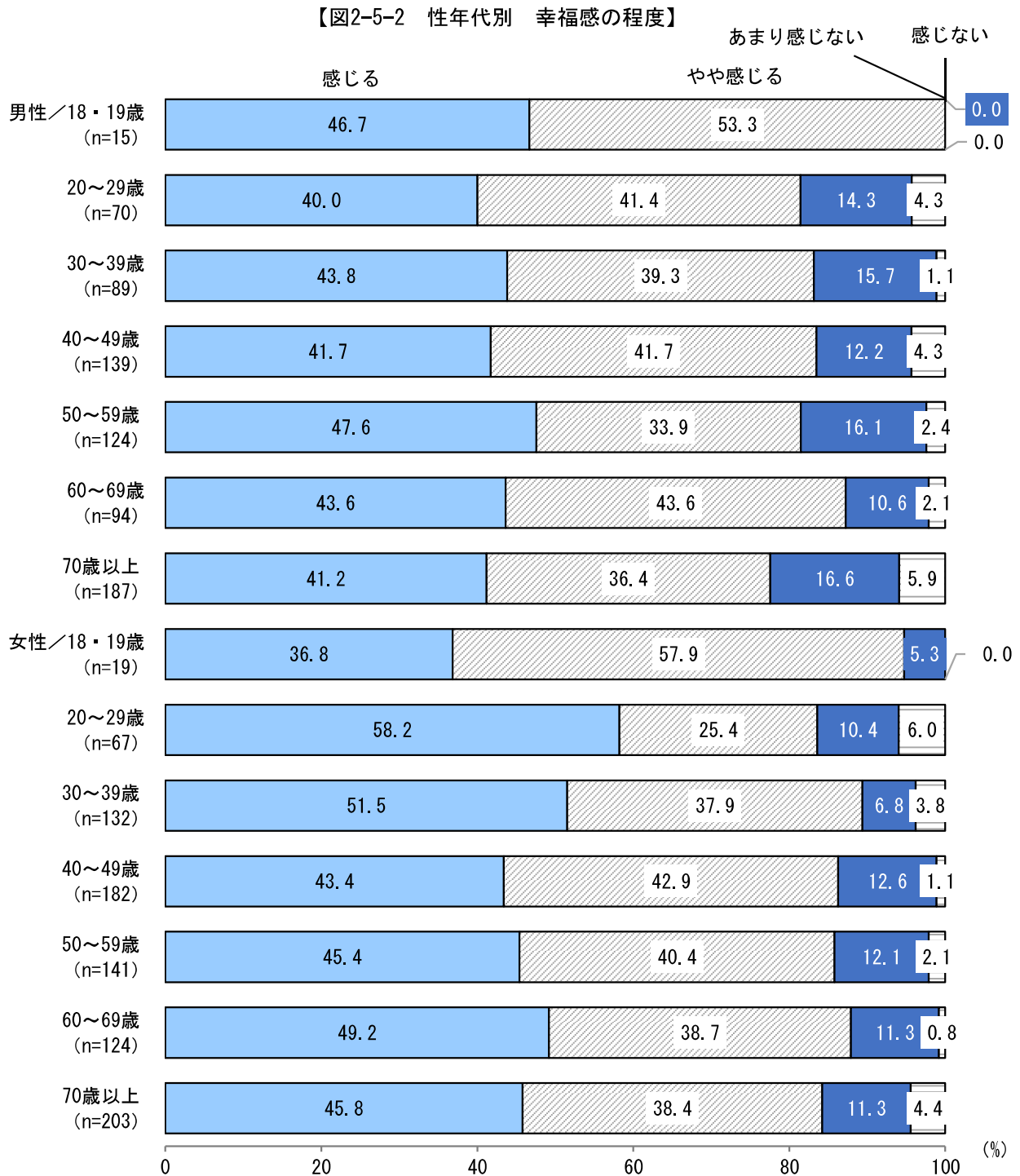


- 普段の生活の中に幸せを感じるかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が84.3%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』が15.7%となっている。(図2-5)
- 性別でみると、男女ともに『感じる』が高く、男性では82.1%、女性では86.1%となっている。(図2-5-1)

【図2-5-1 性別 幸福感的程度】

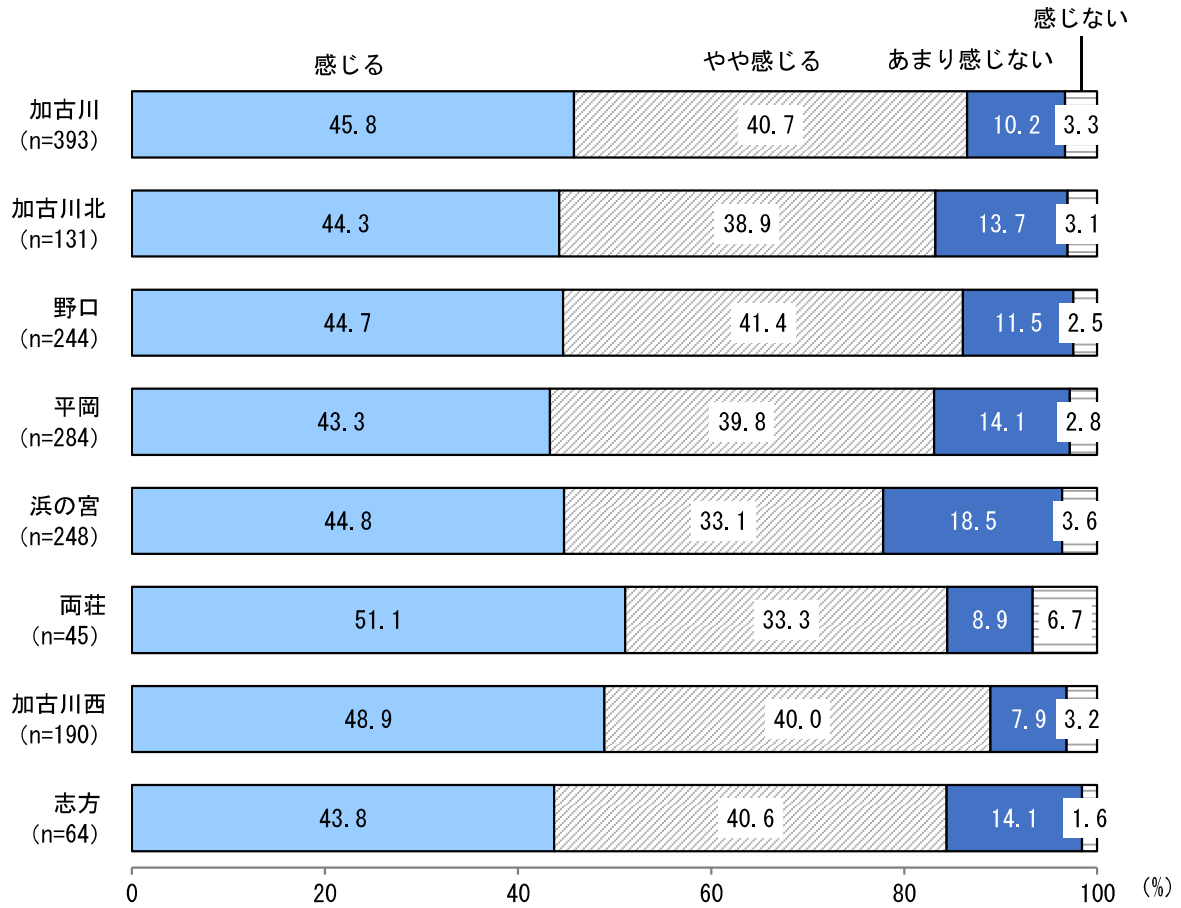


- 性年代別でみると、『感じる』は「男性18・19歳」(100.0%)、「女性18・19歳」(94.7%)、「女性30～39歳」(89.4%)、「女性60～69歳」(87.9%)、「男性60～69歳」(87.2%)で高くなっている。『感じない』は「男性70歳以上」(22.5%)、「男性20～29歳」(18.6%)、「男性50～59歳」(18.5%)で高くなっている。(図2-5-2)



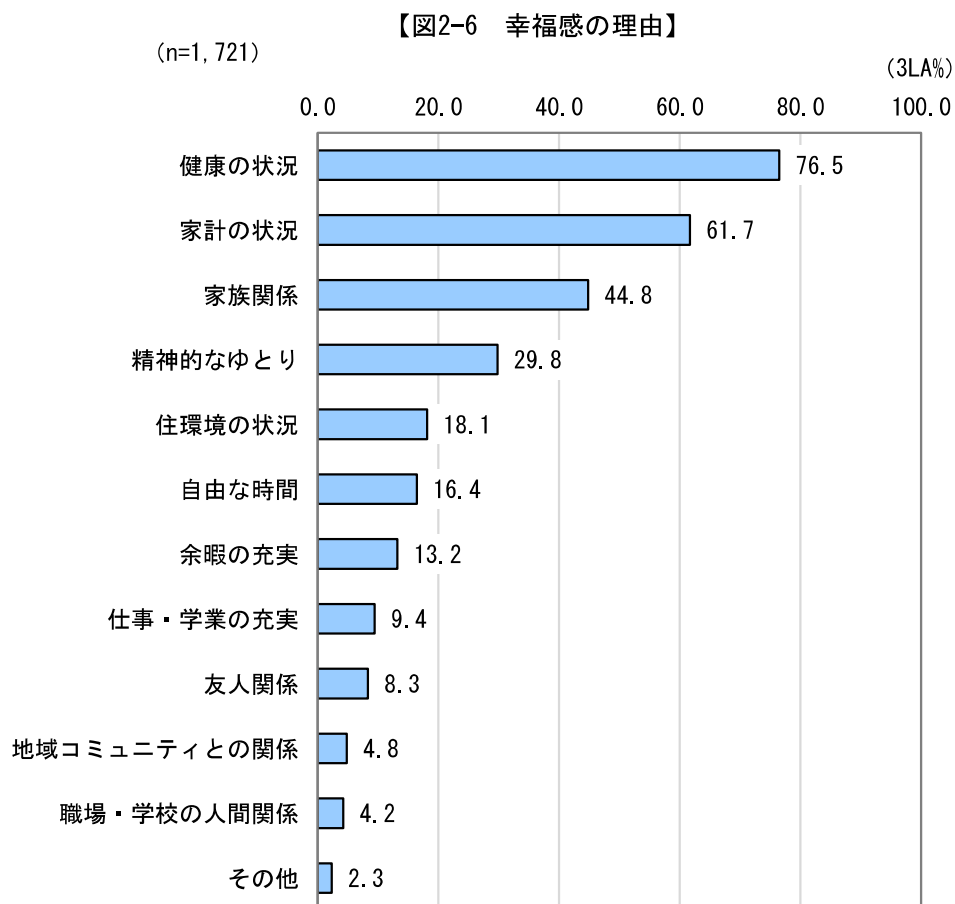
●居住地区別でみると、『感じる』は「加古川西」(88.9%)、「加古川」(86.5%)、「野口」(86.1%)で高くなっている。また、『感じない』は「浜の宮」(22.1%)、「平岡」(16.9%)、「加古川北」(16.8%)で高くなっている。(図2-5-3)

【図2-5-3 居住地区別 幸福感の程度】



(6) 幸福感の理由

問4 あなたが「幸せ」であるために重要だと思うことは何ですか (〇は3つまで)

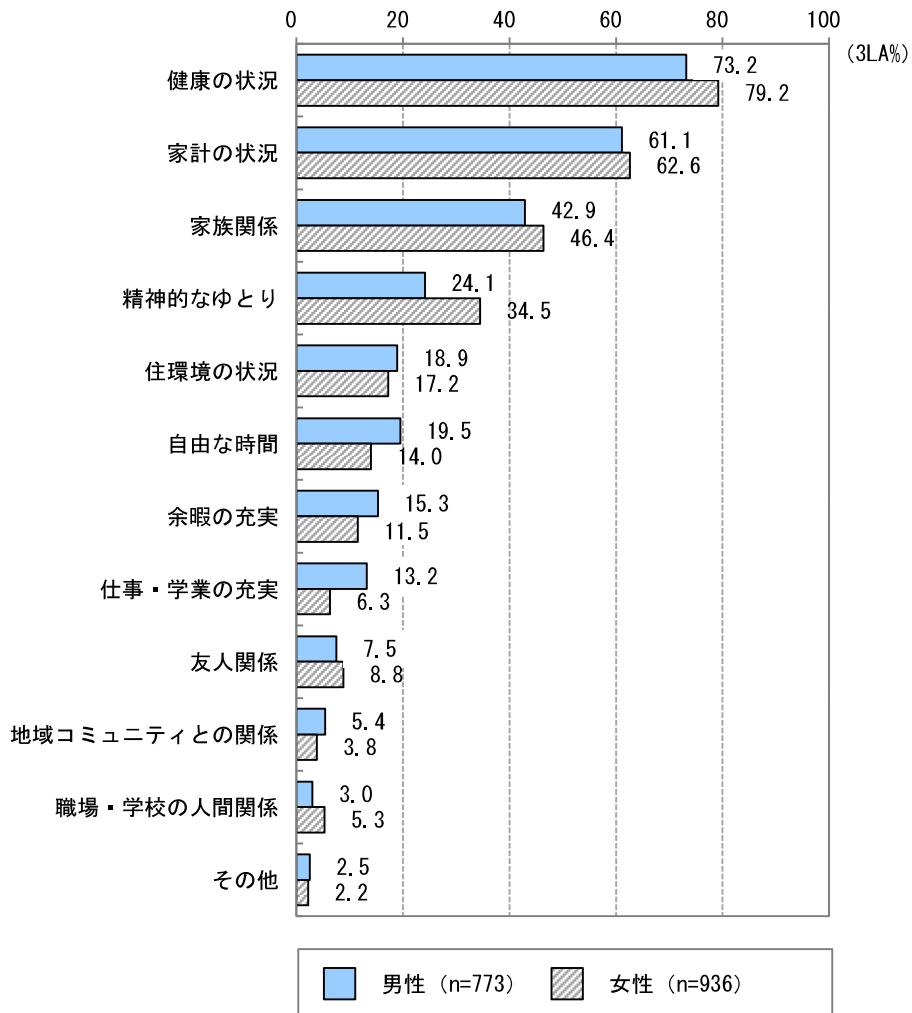


総回収数	1,737件
不明・無回答	16件

- あなたが「幸せ」であるために重要だと思うことについては、「健康の状況」が76.5%と最も高く、次いで、「家計の状況」が61.7%、「家族関係」が44.8%となっている。(図2-6)

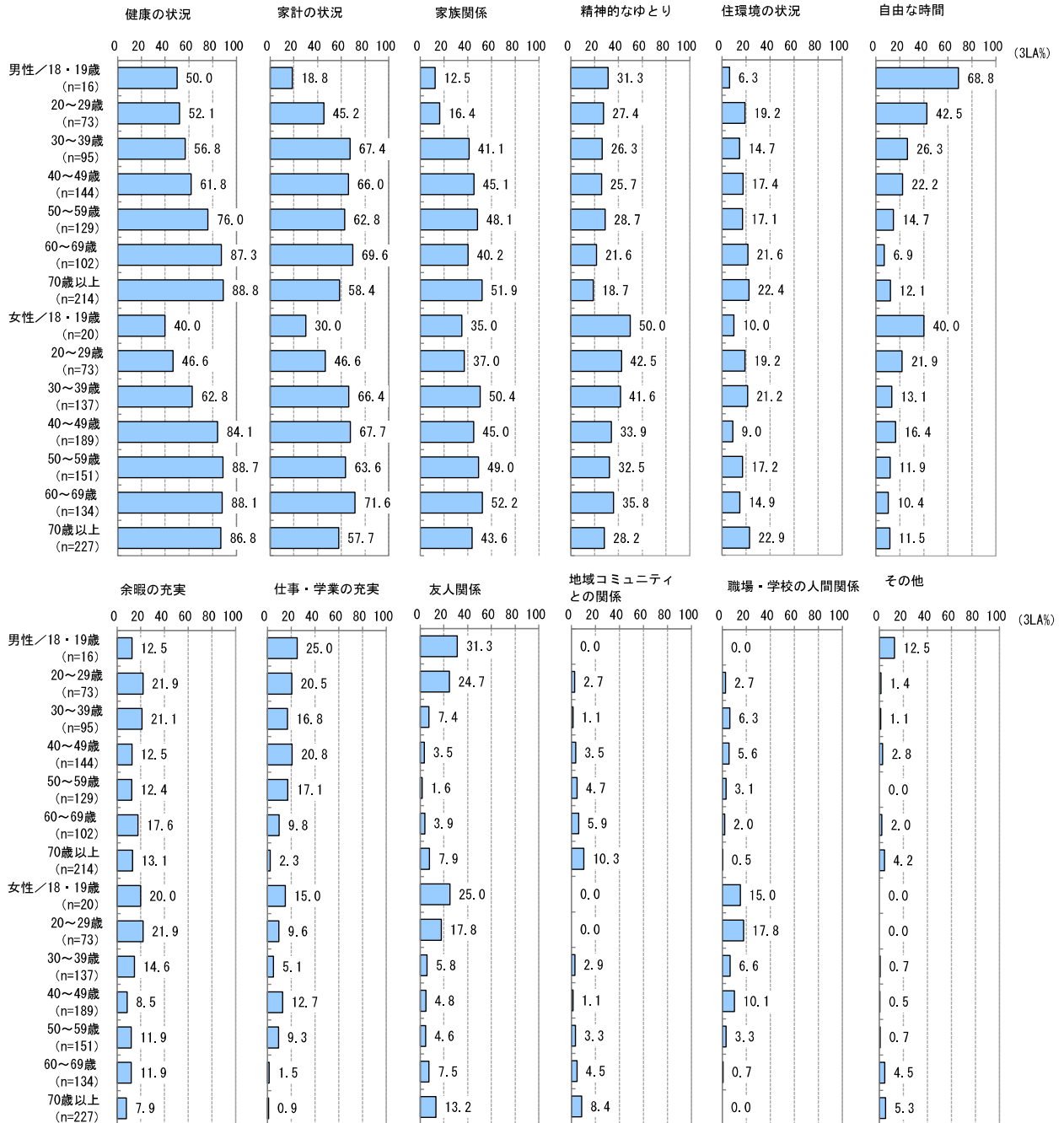
- 性別で見ると、男女ともに「健康の状況」が最も高く、男性では73.2%、女性では79.2%となっている。男女を比較すると、男性では「仕事・学業の充実」、「自由な時間」、「余暇の充実」が高く、女性では「精神的なゆとり」、「健康の状況」、「家族関係」が高くなっている。(図2-6-1)

【図2-6-1 性別 幸福感の理由】



●性年代別でみると、「健康の状況」は男女ともにおおむね年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「家計の状況」、「家族関係」は男女ともに30歳以上で高くなっている。(図2-6-2)

【図2-6-2 性年代別 幸福感の理由】



●居住地区別でみると、大きな違いはみられない。(図2-6-3)

【図2-6-3 居住地区別 幸福感の理由】

